

特定非営利活動法人 九州コンクリート製品協会 Kyushu Concrete Products Association

COMPAS

**2017秋季号**  
[vol.27]

発行責任者：松崎 秀雄  
事務局：熊本中央区水前寺 3-9-5  
(株)ヤマックス内(〒862-0950)  
NPO法人九州コンクリート製品協会  
編集責任者：上田 泰博  
発行年月：平成29年10月



総会会場全景

平成二十九年六月五日(月)映され、続けて「危機管理委員に」(第十一回(平成二十九年年度)会活動報告)を岸川理事、「平常総会」が福岡市の八幡閣成二十八年年度の技術委員会活で開催され、来賓及び会員社を含めて150名をこえる人々が出席しました。

通常総会に先立ってNHK・テレビ福岡放送局で放送された「九州地方整備局の防災に関する取り組み」が会場で放

**第十一回通常総会、福岡市で開催**

**プレキャスト化こそが問題解決のカギになる**



会長挨拶(松崎会長)

**〈会長の挨拶・要旨〉**

**プレキャスト化・標準化が建設技能者不足を解決する**

「昨年4月に発生した熊本地震から1年以上が経過した。当協会では、九州地方整備局と締結した防災協定に基づき、緊急復旧に必要とされる資材の情報提供を実施した。市街地では復旧が少しずつ進んでいるように見えるが、まったく手つかずの地区も多数あるようだ。九州地方整備局をはじめとする発注者の懸命な災害査定や設計・積算作業により、多数の早期発注を動の一つである。

**会員増強と技術レベルの向上**

前年度3社に正会員として入会いただき、さらに今年度2社が正会員として入会した。

要因の一つである建設技能不足の解決策はプレキャスト化である。現場うちから製品へ、手間のかかる在来工法を可能な新施工法へ、省力化が可能な新施工法への製品を我われコンクリート製品業界は多数持ち合わせている。今こそ、その使命を果たすべきである。

建設技能者不足は、この震災による一過性の問題ではなから、少子高齢化に伴い常態化した。業界全体の技術レベル向上に寄与しており、今後多くの方々に受講・受験いただく、さらなる技術レベル向上を図っていく。当協会は平成19年4月に特定非営利活動法人格を取得し、10年間活動してきた。任意団体設立時からご尽力いただいた諸先輩の方に思いをはせつつ、さらなる協会の発展を目指して会員全社で一丸となって進んでいくので、会員の皆様のご協力をお願いします。

その後、来賓として来場いただいた国土交通省九州地方整備局・小平田局長より以下の挨拶をいただきました。

●九州コンクリート製品協会 会員名簿●

会員会社名	県	住所	TEL
麻生商事(株)	福岡	820-0609 福岡県嘉穂郡桂川町吉隈 430-27	0948-20-2020
大野コンクリート(株)	福岡	819-0036 福岡県福岡市西区大字吉武 61-1	092-811-6677
(株)柏木興産	福岡	812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目27番1	092-473-7858
(株)九コソ	福岡	810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3丁目4番16号	092-741-5731
九州高圧コンクリート工業(株)	福岡	815-0035 福岡県福岡市南区向野1丁目13番14号	092-554-6660
共和コンクリート工業(株)九州営業部	福岡	812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町8番24号	092-262-5755
ケイコン(株)西日本支店	福岡	812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13-26	092-471-1784
小倉セメント製品工業(株)	福岡	802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘3-11-10	093-921-0136
昭和コンクリート工業(株)九州支店	福岡	812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目2-10	092-472-6463
大建コンクリート工業(株)	福岡	838-0223 福岡県朝倉郡筑前町砥上 2220	0946-42-3131
中里産業(株)	福岡	822-1405 福岡県田川郡香春町中津原 2787	0947-32-2132
(株)ハセガワ	福岡	824-0022 福岡県行橋市大字稲童 3649番地1	0930-23-1771
本田工業(株)	福岡	839-1342 福岡県うきは市吉井町生業 636	0943-75-4161
水谷建設工業(株)	福岡	825-0001 福岡県田川市大字伊加利 2193番地	0947-44-2111
安永セメント工業(有)	福岡	833-0012 福岡県筑後市大字溝口 920-1	0942-53-3329
(株)ヤマウ	福岡	811-1102 福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7	092-872-3301
大協コンクリート(株)	佐賀	842-0121 佐賀県神埼市神埼町志波屋 1956	0952-52-9763
不二コンクリート工業(株)	佐賀	843-0233 佐賀県武雄市東川登町大字永野 7552-2	0954-23-1211
馬渡商会(株)	佐賀	843-0001 佐賀県武雄市朝日町大字甘久 3498-2	0954-23-4145
H.O.C(株)	長崎	856-0835 長崎県大村市久原2丁目1533-2	0957-53-2112
熊本不二コンクリート工業(株)	熊本	861-1214 熊本県菊池市泗水町田島 2444	0968-38-3131
三和コンクリート工業(株)	熊本	863-0021 熊本県天草市港町 16-13	0969-22-5124
土佐屋コンクリート工業(株)	熊本	860-0863 熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号	096-343-3855
不二高圧コンクリート(株)	熊本	861-4114 熊本県熊本市南区野田1丁目4番72号	096-358-8585
南九州コンクリート(株)	熊本	866-0033 熊本県八代市港町 262-57	0965-37-0124
(株)ヤマックス	熊本	862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	096-381-6300
(株)和商一	熊本	868-0415 熊本県球磨郡あさぎり町野田西 3003-2	0966-45-1251
(株)池永セメント工業所	大分	879-7761 大分県大分市大字中戸次 4763	097-597-3113
大建コンクリート(株)	大分	879-1313 大分県杵築市山香町速見インター工業団地	0977-44-6262
九州中川ヒューム管工業(株)	宮崎	879-1313 宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20048	0985-73-1511
和光コンクリート工業(株)	宮崎	883-0051 宮崎県日向市向江町2丁目125番地	0982-52-3610

会員会社名	県	住所	TEL
インフラテック(株)	鹿児島	890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目7番25号	099-252-9911
鹿児島共和コンクリート工業(株)	鹿児島	892-0821 鹿児島県鹿児島市山町1番3号	099-225-3881
コーアツ工業(株)	鹿児島	890-0008 鹿児島県鹿児島市伊敷5丁目7-15	099-229-8181
(株)センコン	鹿児島	895-1106 鹿児島県薩摩川内市東郷町斧淵 2900番	0996-21-6282
(株)大建	鹿児島	891-1301 鹿児島県鹿児島市西佐多町 942番地1	099-295-1151
(有)太陽コンクリート工業	鹿児島	891-0144 鹿児島県鹿児島市光山2丁目1番60号	099-261-6911
日新コンクリート工業(株)	鹿児島	897-0002 鹿児島県南さつま市加世田武田 14892	0993-53-2611
(株)浜崎コンクリート工業	鹿児島	894-1508 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1114-69	0997-72-1179
北南コンクリート(株)	鹿児島	891-3101 鹿児島県西之表市西之表 14175番地	0997-23-1878
(株)技建	沖縄	901-1207 沖縄県南城市大里字古堅 1246番地	098-945-2787
(株)キョウリツ	沖縄	904-1111 沖縄県うるま市石川東恩納 1406-99	098-965-6262
麻生セメント(株)福岡支店	福岡	814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜二丁目4番27号	092-833-5110
(有)稲佐鉄工所	福岡	824-0043 福岡県行橋市大字流木 1138-1	0930-23-3233
宇島技研(有)	福岡	828-0022 福岡県豊前市大字宇島 522番20	0979-82-2811
宇部三菱セメント(株)九州支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目12番20号	092-752-6101
(株)オング	福岡	811-4301 福岡県遠賀郡遠賀町島津 464-1	093-293-3635
佐友大板セメント(株)福岡支店	福岡	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目2番5号	092-441-1441
(株)ダイクレ九州支店	福岡	812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5番18号	092-262-8765
太平洋セメント(株)九州支店	福岡	812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25	092-263-8455
(株)チヨダマンナリー福岡支店	福岡	816-0912 福岡県大野城市牛頭4丁目4-21-102	092-596-8314
(株)トクヤマ福岡支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目14番16号	092-732-6677
西村工業(株)	福岡	820-1111 福岡県飯塚市勢田 2067-9	09496-6-4117
日工(株)九州支店	福岡	816-0922 福岡県大野城市山田3丁目10番24号	092-574-6211
日吉化学工業(株)	福岡	808-0074 福岡県北九州市若松区藤ノ木3丁目2番39	093-791-3233
ヒロセ精工(株)九州沖縄営業部	福岡	812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町2番1号	092-283-7320
福岡金網工業(株)	福岡	812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚1丁目3番11号	092-621-3000
森山工業(株)	福岡	830-0075 福岡県久留米市大善寺町黒田 53-1	0942-27-1147
(有)大東運輸	福岡	859-1414 長崎県島原市有明町大三東丁 671-1	0957-68-1800
(株)宝機材	福岡	501-0222 岐阜県瑞穂市別府 1723-1	058-327-2222
トヨタ工機(株)	福岡	183-0035 東京都府中市四谷6丁目12-8	0952-53-2131
(株)日栄商事	福岡	501-6236 岐阜県羽島市吉吉町江中 7-16	058-398-3611
BASFジャパン(株)建設化学品事業部	福岡	253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2722	0467-59-5123
富国石油(株)	福岡	410-0011 静岡県沼津市岡宮 949番地の8	055-921-4331

※本文中のカットは馬出博文氏(中津市在住)の作品です。  
※住所変更などある場合は、早めに事務局へご連絡ください。

(平成29年3月1日現在)

**編集後記**



今年、夏の暑かったです。一方、関東では8月に入り、雨、雨の毎日、20日過ぎまで続きました。日照時間が少なく野菜の成長にも影響。野菜価格の高騰を招きました。そんな夏もいつのまにか影を潜め、めっきり秋らしさを感じる今日この頃です。

突然ですが、皆さん「秋の七草」スラスラとすべて答えてられますか?

女郎花(おみなえし)、薄(すずき)、桔梗(ききょう)、撫子(なでしこ)、藤袴(ふじばかま)、葛(くず)、萩(はぎ)の7種です。春の七草は食べて無病息災を願うのに対し、秋の七草は眺めて楽しむ草花です。秋の夜長、これらの草花を眺めながら、ちよつと一杯、こんな風情を味あうのもたまには如何ですか?何か仕事のいいアイデアが浮かんでくるかも……

今回も多くの皆様のご協力で無事に発刊の運びとなりました。ありがとうございます。次号へのご寄稿よろしくお願ひ申し上げます。

広報委員長(福岡)上田泰博 記

### ＜小平田九州地方整備局長の挨拶・要旨＞



来賓挨拶  
(小平田九州地方整備局長)

### i-Constructionの推進で規格と施工時期の標準化を

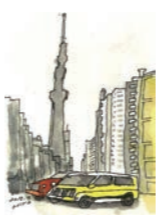
昨年熊本地震や台風16号の被災など、非常に災害が多い一年であった。いずれにおいても、ハードだけでは防がない災害があることから、ソフトの面でも防災・減災に取り組みの必要性を感じた。皆様にも、コンクリート製品業界の一人としてだけでなく、一住民としても災害に備えてほしい。昨年4月に発生した熊本地震では、防災協定に基づく対応をいただき感謝している。熊本地震の発生から1年が経過したが、九州地方整備局としても各方面の支援を受けながら復旧・復興に取り組んでいるが、未だ道半ばである。新たなステージを展開すべく、4月末に熊本復興事務所を設置し着実に復興を進めてい

### 建設業の将来と働き方改革

く決意である。現在、国では『生産性革命プロジェクト』の中で、i-Constructionを推進している。生産性革命については昨年を“元年”、今年を“前進の年”と位置付けているが、その中の一つの柱として『コンクリート工の規格の標準化』があり、建設生産プロセスの全体の最適化を実現するために部品のプレキャスト化や現場の生産性向上を目指しており、コンクリート工の多角的比較法の導入やスランプの見直し等を進めている。また、もう一つの柱である『施工時期の標準化』についても、年間を通して安定した施工が確保できれば製品在庫を必要以上に抱えることもなく、コンクリート製品業界として効率的な生産が可能となると考えている。このように行政としてもi-Constructionを推進していくので、連携の強化にご協力をいただきたい。



もう一つの取り組みとして『建設現場における働き方の改革』を推進している。賃金水準の確保、長時間労働の是正・休日確保といった、働きやすい職場環境を実現するための取り組みが重要で、建設現場が目指している生産性向上と働き方改革の二つについては、官民が連携してすすめていくことが重要である。行政としても各業界や関係自治体との連携を取りながら“建設業の将来”を見据えた取り組みを推進していく。最後となるが、社会インフラに対する要求が年々変化していく中で、行政としても様々な課題と向き合い丁寧に対応していくので、引き続き協力をお願いしたい。



### ＜川原産業技術課長の挨拶・要旨＞



来賓挨拶  
(川原産業技術課長)

### 経済産業省の今年度の施策と支援について

貴協会は設立以来、製品技術の向上や標準化に取り組んでおり、とくにプレコン管理士制度運営による技術者レベル向上や人材育成を通して、官民ユーザーに高い安心と安全を提供していることと理解している。また、九州経済産業局への理解協力をいただき感謝している。経済産業省は今年度、1兆3,366億円の当初予算をもとに切れ目のない政策を実施している。具体的には、製造業の復活に向け「無素材分野の研究開発支援」を充実させること、「中小企業・小規模事業者の海外展開支援」など、潜在力の高い技術・サービスの事業化支援や地域経済を下支えする小規模事業者に着目した施策にも重点的に取り組んでいる。こうした予算措置において、景気回復・経済再生の流れをより強固なものとしていく。熊本

地震の際にはグループ補助金を創設し、復旧・復興に進展がみられている。JISの現状に目を転じると、全国で7,695件、九州では984件の認証事業者があり、うちプレキャスト製品工場は全国で1,471事業所、九州では256事業所が認証を受けている。JISマーク制度の適正な運用に全力をあげることはもとより、JISマーク表

### ＜その他の主な報告事項＞

その後に議案審議にうつり、平成二十八年度の事業及び収支に関する議案、平成二十九年度の事業及び収支に関する議案、定款変更および規程新設に関する議案すべてが原案通り承認されました。役員の変更では中村副会長と村上理事の退任、小嶺新副会長の選任を承認可決しました。議案審議終了後に正会員新入会員のコーアツ工業(株)出口常務、日新コンクリート工業(株)東常務、(株)キョウリツ 内山常務が入会の挨拶をしました。また、今年3月に実施したプレコン管理士試験における最優秀成績者表彰(別途)で、最高得点者の溝口稔也氏(株式会社ヤ

マックス)が表彰され、最後に本総会で退任となった中村副会長の閉会挨拶で通常総会が閉会されました。また、総会終了後に国土交通省九州地方整備局・安部宏紀総括防災調整官から熊本地震に関する九州地方整備局の活動報告と題して講演をいただき、引き続き懇親会を開催しました。懇親会では、冒頭に小嶺新副会長が副会長就任挨拶し、司会者が来賓を紹介。その後、茂森副会長が乾杯の発声。最後にKyUPEC学界正会員の九州共立大学・牧角名着教授に中締めをいただき、多数の参加者で大盛会のうちに終了しました。翌日は九州かたまり会第二十

次頁につづく

J3の次は当然J2となるわけで、2016年シーズンJ2昇格を目指した戦いが始まったのですが、まさかのJリーグ理事会でJ2ライセンス不交付の判定(ホームスタジアム鹿児島立鴨池陸上競技場がJ2スタジアム基準を満たさない)成績に関係なくJ2昇格は不可能でJ3残留が決定となりました。

サッカーファンの方ならこのニュースはまだ記憶にあるのではないのでしょうか。鹿児島県内ではこのライセンス不交付のニュースは新聞・テレビとわりと大々的に報道され広く知られることになりました。自分もかなりショック。Twitter上でもかなりのファン・サポーターが意気消沈。



改修工事が進むスタジアムメインスタンド

不交付となった大きな理由

は、ホームスタジアムの鹿児島立鴨池陸上競技場がJ2基準の10,000人以上の入場可能数を確保することが満たされていない。鹿児島立鴨池陸上競技場は、2020年の第75回国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)に向けて段階的に改修工事を行っておりますが、2016年度からメインスタンドの全面改修および屋根部分の改修工事を行うこととなっており、2017年シーズンにはメインスタンドが全面使用できず、サイドスタンド(ゴール裏もJリーグがカウント外としている芝生席のため、入場可能数は5,386人)となることから、シーズン中を通して観客席10,000人を常時満たすことが確保できない状態。

つまりJリーグ規約に定める要件を満たしたホームスタジアムが無い。しかし落ちこんでばかりいても先に進みません。我々がゴール裏から選手に向けて「下を向くな、前を見ろ」と叱咤激励するように自分達も前を見て出来ることはないかと考え、仲間達が動き出しまし



旗を振り選手を鼓舞

自分も友人知人、センコン従業員などいろいろな方に署名をお願いしました。大々的に報道されたこともあり、ほとんどの人が認識を持っており「あっ、あれね」と快く署名して下さいました。本場に感謝で一杯です。この活動では70,000人以上の署名を集め、鹿児島市と鹿児島県に提出しました。そして鹿児島市を中心とした「サッカー等スタジアム整備検討協議会」を設置し、「新スタジアム建設」へ向けた一歩を歩むことが出来ました。これも署名していただいた方は勿論、鹿児島ユニテッドを応援する皆さん、全国のサッカーファン、地元鹿児島愛を持っていらっしゃる方々のおかげだと思ってい



2017年シーズンは三浦泰年氏(キングカズ)こと三浦知良選手の兄を監督に迎える17チームにおける(ちなみにJ1は18チームありJ2は22チームです)。ホーム&アウェイあわせて32試合あり、ホーム開催の16試合が鹿児島県立鴨池陸上競技場で行われます。

今シーズンのホームゲームは土曜日開催が多く、土曜日勤務のため残念ながら思うようにスタジアムに足を運ぶことが出来ず、まだ数試合の観戦しかできていません。日曜日にホームゲームが開催されるのは11月まで無いので、それまでは仕方なく充電期間

として備えておきたいと思えます。次、いつ行けるかわかりませんが、試合前はみんなで冗談や雑談、試合が始まれば夢中になって大声で声援やチャントを歌い、鹿児島ユニテッドFCの勝利とJ2への昇格(10月にはライセンスの交付の結果が出ると思われる)が出来るように選手達の背中を声援で後押しし、勝利できれば気分良く帰路につき、そして眠ることが出来るのではないのでしょうか。(負け時、それはそれで残念なことではあります。精一杯応援した満足感に浸りたいと思います)。



早いハシ、少しでもストレスが発散できればOK!!



皆さんもテレビでのスポーツ観戦もいいですが、九州には『プロ野球』ではソフトバンクホークス、『サッカー』ではJ1にサガン鳥栖(佐賀県)、J2にアビスパ福岡(福岡県)、V・ファアレン長崎(長崎県)、大分トリニータ(大分県)、ロアッソ熊本(熊本県)、ツルギVアンツ北九州(福岡県)、鹿児島ユニテッドFC(鹿児島県)、FC琉球(沖縄県)、『バスケットボール』ではB1に琉球ゴールデンキングス(沖縄県)、B2にライジングゼファーフクオカ(福岡県)、熊本ヴォルターズ(熊本県)、B3に鹿児島レブナイズ(鹿児島県)、その他Vリーグ(バレーボール)やトッブリグ(ラグビー)とありますから、みなさんも現地に持って大声を出し、拍手し、喜んで驚いたり怒ったりして、好きなチームや地元のチームを応援してストレスを発散していただければと思います。

前頁より  
1993年5月15日、Jリーグがヴェルディ川崎対横浜マリノス戦で開幕しました。アラフォー以上の方ならおそらく明確に記憶されているのではないのでしょうか、あの年に起こった熱気に溢れたJリーグ大フィーバーを!!

新しい物好きの自分もすっかりとこのJリーグフィーバーの波に乗るわけですが、サッカーにさほど詳しくない自分はいったいどのチームを応援しようかなあと考えた時にピッタリくるチームが1つだけありました。今は無き横浜フリューゲルス。



応援するサポーター

横浜フリューゲルスは当時九州地方にJクラブがなかったこともあり、鹿児島県、長崎県、熊本県を「特別活動地域」として活動すると発表しました。(特別活動地域はアビスパ福岡がJリーグに加盟した1996年以降は解消)地元鹿児島を準フランチャイズにしたのです。

陸上競技場で行われた試合は全て応援に行ったと記憶していません。しかしその横浜フリューゲルスですが1999年1月1日天皇杯に優勝したのにもかかわらず消滅してしまいました。(横浜マリノスに吸収合併)アラフォー以上のサッカーファンの方なら記憶しているのではないのでしょうか)

横濱フリューゲルス消滅と共にJリーグ熱はダウン。サッカー観戦は日本代表の試合をテレビの前で応援するだけになってしまいました。

2012年だったでしょうか、何気なくラジオを聴いていると「鹿児島にJを!」の話題、九州サッカーリーグに所属しているヴォルカ鹿児島とFC KAGOSHIMAの2チームが、Jリーグの無い

鹿児島県からJリーグ入りを目指しているとのことでした。まだこの頃は「そうなんだあー」と思う程度に気に留めていました。

それからいろいろな経緯がありライバル関係だったヴォルカ鹿児島とFC KAGOSHIMAが2014年合併し鹿児島ユナイテッドFCが誕生することとなりJFLリーグに昇格しやっとなりJリーグ入りを目指せる状況が整いました。

チーム名の由来はヴォルカ鹿児島とFC KAGOSHIMAの連合(ユナイテッド)薩摩半島、大隅半島および離島を含むすべての鹿児島県民の協力県内在住者のみならず県外および世界中にいる鹿児島を愛する人々の団結を希望して命名。ホームタウンは鹿児島市とし、鹿児島県全域を活動地域に。



チームスローガン「鹿児島をもっとひとつに」

それからのいろいろな経緯がありライバル関係だったヴォルカ鹿児島とFC KAGOSHIMAが2014年合併し鹿児島ユナイテッドFCが誕生することとなりJFLリーグに昇格しやっとなりJリーグ入りを目指せる状況が整いました。

2014年シーズンの中で観客数483名という最低観客試合がありますが、これは台風接近によるもので暴風域は抜けたものの、当日の朝もまだ雨風が強い強風域でファン・サポーターでない人から見れば「こげな日に行っしはどげんかしとっど」と言われる日で、妻からも「本当に行くの?こんな天気で本当にあるの?」と言われながら家を出掛けた記憶があります。

Jリーグに昇格するには強さだけではなく、チームの財政状態・スタジアム等の審査をパスしなければいけないのです。そしてホーム試合の観客員数が一試合あたり2,000人以上というのも審査項目もあり、ファン・サポーターはいつも観客員数を気にしており、「今日は2,000人集まったかなあ?」が試合前の合言葉のようになって

いました。自分もあのころはよく「明日暇ならユナイテッドの試合見に行つてよ」と声をかけていました。

今では(2016年シーズン)最低でも2,024名の方がスタジアムに集まって来ていただき、あの483名しか集まらなかった試合が嘘のような光景になっています。

2015年シーズンが終了し順位も昇格条件の4位以内になり観客員数も一試合あたり2,000人以上クリア、書類等の審査も問題はなく11月17日に念願のJリーグ所属チームが誕生しました。家ではあまり飲まないのですがその日は祝杯をあげました。Twitter上ではファン・サポーターが狂喜乱舞していたような。



次頁につづく

前回より  
七回懇親ゴルフコンペが福岡カンツリークラブ和白コースで開催され、本総会のプログラムが全て終了しました。



### 特定非営利活動法人 九州コンクリート製品協会 第十一回(平成29年度)通常総会プログラム

日時 平成29年6月5日(月) 15時00分〜16時45分

場所 八仙閣(福岡市博多区)

1. 開会
2. 会長挨拶(松崎会長)
3. 来賓挨拶(国土交通省九州地方整備局・小平田局長、経済産業省九州経済産業局地域経済部・川原産業技術課長)
4. 定足数の報告
5. 資料の確認
6. 議長の選出
7. 議事録作成者及び署名人の指名
8. 議事
  - 第一号議案 平成二十八年度事業報告
  - 第二号議案 平成二十八年度活動決算・監査報告
  - 第三号議案 定款変更(案)および規程新設(案)

第四号議案 役員改選の変更(案)

第五号議案 平成二十九年度事業計画(案)

第六号議案 平成二十九年度活動予算(案)

第七号議案 総会決議事項の委任に関する件

9. 平成二十八年度プレコン管理士試験最優秀者表彰

10. 第二十七回九州かたまり会開催案内

11. 閉会(中村前副会長)



## 平成28年度プレコン管理士試験実施報告

平成29年3月22日(水)、熊本市流通情報館(熊本市南区)にて平成28年度プレコン管理士試験が実施されました。今回は4回目の試験で、受験資格要件は「平成27・28年度のいずれかの講習会を受講した者」とし、対象となる96名が受験しました。

日時 平成29年3月22日(水) 9時50分〜12時30分  
場所 熊本市流通情報館(熊本市南区)



平成28年度プレコン管理士試験合格者発表

平成28年度プレコン管理士試験の合格者は以下の通りです。(氏名のみ掲載・受験番号順)

- 寄田義文/田畑和章/田中慎一
- 山田 剛/石塚博史/小田晋也
- 山口優耶/草野誠治/井上寿幸
- 角口 覚/坂田和博/井形友彦
- 溝口稔也/亀井啓吾
- 野田知宏/滝口翔太/牧 佑樹
- 木々川博/吉田里誌/神之園洋輔
- 榎元勇二/吉竹信義/大場裕介
- 大淵泰嗣/柿田憲美/末次 拓
- 南 勇二/吉丸 剛
- 井本裕一朗/宮原和宏/岸良美香
- 置田良一/江藤健二/井澤亮士
- 後藤情二/佐藤友泰/川端 稔
- 森川真由/吉武広志/坂井秀行



協会として4回目の試験実施であり、問題の作成から当日の運営に至るまで、これまでの試験の反省等を踏まえて技術委員会と協力を重ねたうえで、今年度も8月30日の講習会及び平成30年3月頃(予定)の試験というスケジュールで制度運営を実施してまいりますので、多数の皆様のご受講・受験をお待ちしております。

**【最優秀成績者】**  
溝口稔也氏  
(株式会社ヤマックス技術本部)

※受賞時のコメント(要約)  
プレコン管理士試験の最高得点者として表彰されるとは夢にも思わなかったが、これまでの歴代受賞者の先輩方と名を連ねることを光栄に思う。

**【最高得点者】**  
スピーチ(ヤマックス・溝口稔也氏)

松崎会長と溝口氏(左)

プレコン管理士試験最高得点者表彰

コンクリート技士や施工管理技士など様々な資格があるが、プレコン管理士はコンクリート二次製品に特化した資格であり、この業界で働くうえで必要な知識を身に付けるために非常に貴重な資格と捉えている。プレコン管理士試験の勉強をすることで自身の知識として身についた感覚がある。これから業界に入ってくる若い人材にとって、登竜門としての資格として位置づけられるのではないかと思う。

ここで表彰されたことに恥じないよう、自己研鑽に努め若手技術者として5年後、10年後を見据えてさらに業務に邁進するとともに、業界の発展に貢献できるように日々精進していく。



# 危機管理委員会および技術委員会活動報告 (要約)

## 危機管理委員会活動報告

危機管理委員会では、九州地方整備局と締結している防災協定を中心に活動を推進しており、平成28年度は、4月に発生した「平成28年熊本地震」への対応を実施しました。

ここでは、昨年度の活動実績と今後の課題・対策を抜粋して報告いたします。



危機管理委員会活動報告 (岸川理事)

### 九州地方整備局との防災協定発動

災害時における災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定書 調印式



「災害時における災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定」

平成28年熊本地震に係る感謝状贈呈式



### 協定発動における九州地方整備局との対応

2016/4/18 九州地方整備局より  
大型接続ブロックの在庫情報提供依頼  
⇒2016/4/20 九州地方整備局に回答

2016/4/26 九州地方整備局より  
ブロックマットの在庫情報提供依頼  
⇒2016/4/28 九州地方整備局に回答

品名	数量	単位	備注
大型接続ブロック	11	個	
ブロックマット	11	個	

### 今後の危機管理委員会の課題と対策について

#### 平成28年熊本地震における流れと課題

【実績】

九州地方整備局・防災課より協会事務局に連絡・依頼あり

協会会員社の協力のもと、九地整に対する情報提供ができた。

【課題】

事務局事務所の一時的被災により、通信手段が限られた中での対応であった。

事務局が被害を受けた場合のバックアップ体制は？

連絡体制の確認が最重要！！

そのために、訓練等を実施し、会員社全社が意識を共有できるように対応する。

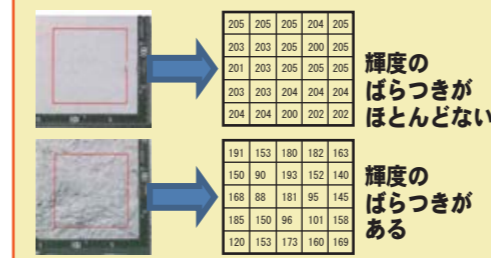
出先事務所から協会・各県支部に直接連絡があった場合の対応は？

また、被災地への診断のための有資格者派遣等の際に必要とされる資機材・備品等も、今回の他団体等の取り組みや反省をもとに早急に準備が必要。

各社工場の担当者が被災したり、連絡が取れない場合の対応は？

「災害はいつ起こるかわからない」という考えを常に持って対応する。

前頁より



- ・肌理が細かく平ら→陰影ができない→輝度のばらつき小
- ・肌理が粗く凹凸あり→陰影ができる→輝度のバラツキ大
- ・数種の自然石の輝度の標準偏差(参考値)は20~35程度(ただし、色や模様の影響も含む)
- ・表面にテクスチャーを持たせることで生物が登攀(とうはん)しやすくなる傾向がある。
- ・印象調査結果により、滑面は河川景観に調和しにくいという結果であった。

以上の研究成果より、「視距離によりテクスチャーとして認識される要素が変化したが、比較的川幅の狭い中小河川においては、主に肌理を定量的に評価することで概ねテクスチャーを評価可能であること、肌理を持たせるという観点では、輝度の標準偏差が11以上を目安とすることが望ましいことが分かった。」ということでした。

また、本紙が発行される頃には、(公社)全国土木コンクリートブロック協会から「護岸ブロックのテクスチャー計測マニュアル(案)」が公表されているのではないかと考えています。今後の動向に注目する必要があると考えられます。

広報委員(宮崎) 金丸和生



TV program

## 明治維新150年NHK大河ドラマ「西郷どん」

平成30年のNHK大河ドラマを引き取る。マは明治維新150年という節目に当たるということ。西郷どんに決まりました。林真理子・作、中園ミホ・脚本。本と日大芸術学部卒のコンビによる、女性の視点からの西郷隆盛の生涯・生きざまがどのように展開して行くのか非常に興味深く、期待しているところでもあります。

ほとんどの方がご存知でしょうが、今回のドラマを観るに際して、西郷さんの系譜(結婚歴、子孫)そして今回のドラマでの役を演じる俳優についてまとめてみました。参考になれば幸甚に存じます。

〔西郷隆盛・南州翁の三度の結婚〕

○一八二八年一月二十三日 加治屋町で生まれる。

○一八五二年 伊集院兼寛の姉・須賀と結婚。しかし、一八五四年より西郷一人江戸詰となり、鹿児島においては貧窮の西郷家から伊集院家は須賀



○一八五八年十二月 月照と竜ヶ水沖に入水するも西郷、蘇生する。大島に潜居させる。○一八五九年一月十一日、本と日大芸術学部卒のコンビによる、女性の視点からの西郷隆盛の生涯・生きざまがどのように展開して行くのか非常に興味深く、期待しているところでもあります。

○一八五九年十一月 龍家の一族の愛加那を島妻とする。

○一八六五年一月二十八日 三十八歳の時、家老座書役・岩山八太郎直温の次女・糸子(二十歳)と結婚。一八六六年八月二十一日、寅太郎(陸軍大佐、貴族院議員)誕生。明治天皇の思召により、ポツダム陸軍士官学校留学を命ぜられ、十三年間ドイツで学ぶ。次男・午次郎、三男・西三と三人の子供をもうける。

○一八六九年五月十八日 戊辰戦争終了(五稜郭の開城)

○一八六九年七月 鹿児島郡武村(現在の「武二丁目・西郷公園」の地)に土地を購入。

◇府県の統廃合 (三府七十二県)

◇陸軍省、海軍省の設置

次頁につづく

# 「河川護岸用ブロックのテクスチャー」について

(国開研) 土木研究所 水環境研究グループ 自然共生研究センター主催、(公社) 全国土木コンクリートブロック協会共催、国土交通省後援にて2017年7月25日に開催された「第2回水辺空間シンポジウム 魅力ある水辺空間の再生を目指して! ~多自然川づくり、これからの軌道~」に参加、「河川用護岸ブロックのテクスチャーについて」という事例発表を聞いたので報告致します。

平成26年3月に改定された【美しい山河を守る災害復旧基本方針】には、『災害復旧において河川景観を保全するためには、護岸が周囲の景観と調和し、目立たないことが原則となる』と書かれ、護岸が露出する場合には、「法面の明度は6以下を目安とする」、「護岸の素材に適切

なテクスチャーを持たせる」、「護岸に使われるブロックの形やサイズ、積み方、目地などによる景観パターンが、周囲の景観やその場の特性と調和していること」との留意点が示されている。この中の明度については、(公社) 全国土木コンクリートブロック協会が平成26年度から明度認証制度を開始し、平成28年度までに1,267件の明度証明書を発行し、全国的に認識されつつある状況である。一方、「テクスチャー」や「景観パターン」については定性的な表現にとどまっていた。そのような中で、「護岸ブロック表面のテクスチャーを定量的に測定する方法を土研とブロック協会で共同開発した」という説明でした。具体的には、

## テクスチャーとは、素材の表面の肌理(きめ)や凹凸(材料が持つ視覚的・触感的な感じ)



肌理が粗い  
凹凸(陰影、立体感)がある  
表情が豊か



肌理が細かい  
凹凸はあるがのっぺりとしている

## 肌理(きめ)とは、素材の表面の細かい凹凸、触った時の感じ



肌理が粗い  
ざらざら

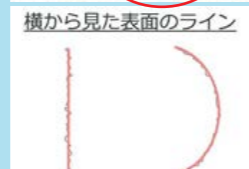


肌理が細かい  
つるつる

## 凹凸とは、肌理(きめ)よりも空間スケールの大きい凹凸



凹凸によって形成される陰影  
立体感が生まれる



凹凸がない 凹凸がある

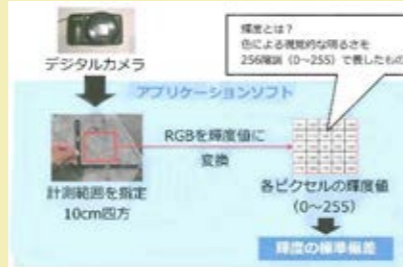
## テクスチャーと視距離の関係

数10cm程度 数m程度 数10m程度



素材の肌理がテクスチャーとして認識される  
肌理による質感と凹凸による立体感がテクスチャーとして認識される  
凹凸による陰影、素材の形、積み方、目地等の配列がテクスチャーとして認識される

## テクスチャーの定量評価手法



・ブロック表面を写真撮影  
→RGB輝度値に変換  
→各ピクセルの輝度値  
→輝度の標準偏差

次頁に続く

# 技術委員会活動報告

技術委員会では、会員社の技術力向上を目的とした様々な活動を推進しており、平成28年度は9回の委員会開催と2回の講習会を実施しました。

ここでは、昨年度実施した活動の中から重要項目を抜粋して活動報告致します。



技術委員会活動報告 (河野技術委員長)

## 平成28年度の取り組み項目

### 1. プレコン管理士制度の運営について

プレコン管理士技術講習会開催・・・93名受講 (熊本市流通情報会館：平成28年9月8日開催)

プレコン管理士ミーティング開催・・・34名 (熊本地震河川堤防災害現場視察、熊本市流通情報会館：平成28年11月15日開催)

プレコン管理士試験実施・・・96名受験 (熊本市流通情報会館：平成29年3月22日実施)

### 2. 技術講習会の開催

平成28年度第1回技術講習会開催・・・コンクリート診断士 試験対策 (鹿児島大学工学部稲盛会館：平成28年6月20日開催)

### 3. 各種技術情報の収集

産官学建設技術交流会への出席

### 4. KyuPEC 会議への参加

平成28年度第1回 KyuPEC 会議 (八仙閣：平成28年8月16日開催)

平成28年度第2回 KyuPEC 会議 (八仙閣：平成28年12月21日開催)

## 平成28年度プレコン管理士講習会

平成28年9月8日(木) 10:00~17:00 (熊本市流通情報会館：熊本市南区)

受講者93名(会員社87名、会員外社6名)

本講習会の趣旨説明

講習Ⅰ 第3章「製造」

講習Ⅱ 第4章「設計」

講習Ⅲ 第5章「品質管理と検査」

講習Ⅳ 第6章「耐久性」 第7章「苦情処理」 第10章「マネジメント」

講習Ⅴ 第8章「安全衛生・公害防止」 第9章「設備管理」

特別講演 「コンクリート系構造物の長寿命化技術について」

河野技術委員長

野下技術委員

田中技術委員

内田技術委員

山本技術副委員長

隈田技術委員

熊本大学・教授 村上 聖氏

(KyuPEC委員)

今年度も平成29年8月30日(水) グランメッセ熊本にて開催予定

※開催終了しました

## 平成28年度プレコン管理士ミーティング

平成28年11月15日(火) 10:00~16:50 出席者34名

(現場見学) 熊本地震河川堤防被災・緊急復旧現場 (熊本市南区野田)

(講習ほか) 熊本市流通情報会館会議室 (熊本市南区流通団地)

### 【プログラム】

#### ①熊本地震河川堤防被災・緊急復旧現場視察

講習：国土交通省九州地方整備局・永吉火山防災対策分析官より事前講習

現地：熊本河川国道事務所・甲斐副所長より現場説明

#### ②講習ほか

・九州経済産業局・川述工業標準審査官より「工業標準化の概要」と題してプレゼンテーション実施

・グループディスカッション

今年度も平成29年9月28日(木) TOTO小倉第一工場ほかにて開催予定

※開催終了しました

次頁に続く

前頁より

### 平成29年度の技術に関する各種スケジュール

日程	プレコン管理士制度	コンクリート診断士
2017/3	2017/3/22 第4回プレコン管理士試験 (熊本市流通情報会館：熊本市南区)	2017/6/26 コンクリート診断士講習会 (鹿児島大学：鹿児島市)
2017/7	2017/8/30 平成28年度プレコン管理士講習会 (グランメッセ熊本：熊本県益城町)	2017/7 コンクリート診断士試験 ※日本コンクリート工学会主催
2017/8	2017/9/28 平成29年度プレコン管理士ミーティング (TOTO小倉第一工場ほか)	
2017/9	2018/3 第5回プレコン管理士試験 (開催地未定)	

協会会員社の技術力向上のために、多数の皆様の受講・受験をお待ちしております！！

#### 新入会員挨拶



(キョウリツ・内山常務) (日新C工業・東常務) (コアツ工業・出口常務)

会計監査報告  
(柏木監事)

総会議案説明  
(岸川理事)

## 総会 スナッフ



基調講演講師  
(九州地方整備局・安部総括防災調整官)

総会司会  
(森総務企画委員)

閉会挨拶  
(中村前副会長)

九州かたまり会案内  
(入江理事)



災害発生時に着用するブルゾンを着て講演する安部氏



茂森副会長の乾杯の発声で懇親会がスタート

## 懇親会 新時代キャスト



懇親会司会  
(福留総務企画委員)

中締め  
(牧角名誉教授)

乾杯の発声  
(茂森副会長)

懇親会挨拶  
(小嶺新副会長)



# 賛助会員紹介コーナー PR



- ・図面だけではイメージがわからない
- ・寸法が本当に合っているのか不安
- ・細かい個所の確認が難しい

## 図面では解らない詳細な部分を 3次元化して実物サンプルへ

商品開発のスピードUP、  
リスク低減、経費削減に

図面から...

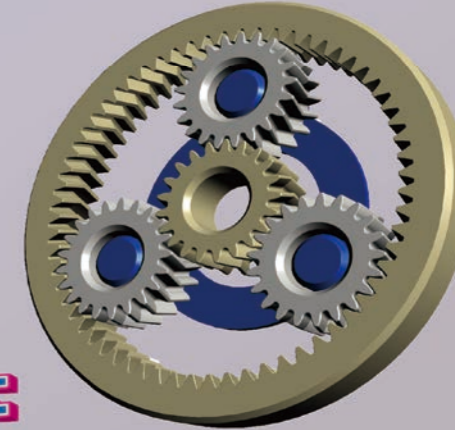


3Dデータへ



実物サンプルに

新製品開発の  
イメージ先取りに



拡販用営業ツールに

## 3次元データの作成から承ります

詳細は弊社担当営業まで

3Dプリンターで  
「かたち」にしてみませんか？

\*サイズは  
W(幅) 294 mm  
D(奥行) 192 mm  
H(高さ) 148.6 mm  
まで可能です。  
(積層ピッチ 0.028 mm)



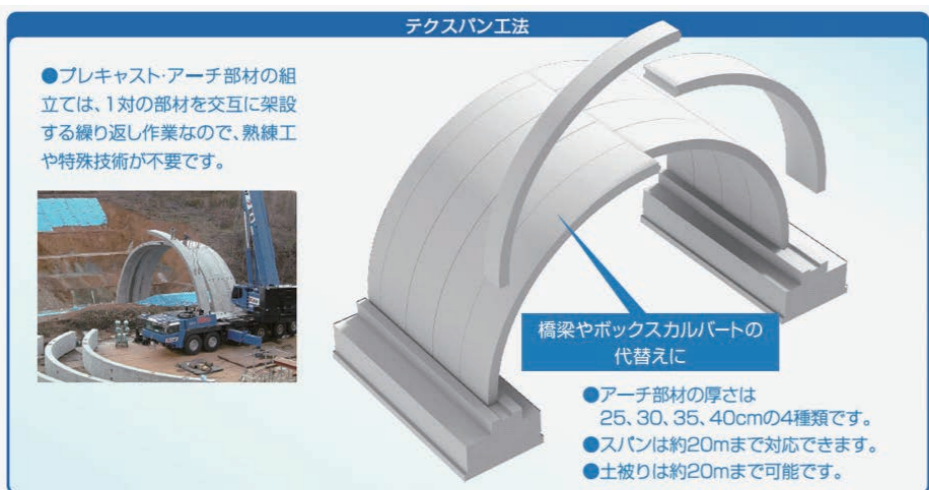
本社・東名工場 〒410-0011 静岡県沼津市岡宮 949-8  
TEL : 055-921-4331 FAX : 055-921-5886  
URL http://www.fukoku-oil.com  
E-mail fukokuoil@fukoku-oil.com

# 賛助会員紹介コーナー



## 【テクスパン工法】3ヒンジ式アーチカルバート工法

- 橋梁代替・高土被り・水路横断・保護工として活用できます
- 工期短縮・経済性に優れます
- 地元業者での施工が可能です



### 施工手順



## 【テラトレール工法】仮設テールアルメ工法

- 作業構台・仮橋の擦り付け土工に活用できます
- 栈橋に比べ工期短縮・経済性に優れます



お問い合わせ 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町2番1号 博多蔵本太田ビル7F  
 連絡先 ヒロセ補強土株式会社 九州沖縄営業部  
 TEL : 092-283-7325 FAX : 092-283-8811 <http://www.hirose-net.com>

# 展望 防・減災から観光などへ、新たな需要の喚起を



会長 松崎 秀雄

厳しい酷暑も幾分和らいてきているようですが、皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

九州豪雨災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ともに被災された方々へのお見舞いを申し上げます。豪雨発生から1ヶ月以上経ちますが、まだまだ不自由な生活を送られている方々も多いことと思います。今回の災害は、線状降水帯という気象現象を原因とする豪雨が引き起こしたものです。これは日本全国どこにおいても発生する可能性があるようですが、実際に今回の梅雨では新潟・福島等でも発生しています。以前は耳にすることが稀であった1時間に100mmを超える豪雨が全国のいたるところで発生し、河川の氾濫・住宅への浸水等

の被害が出ています。また、豪雨に限らず地震・台風などによって今まで災害の発生が想定されていた地域でもここ数年頻発しており、日本はどこにおいても自然災害発生の恐れがあると言わざるを得ない状況で、これは地球温暖化も一つの要因でしょうが、全てにおいて災害の規模が大きく(台風の最大風速、1時間当たりの降雨量など)なってきたように感じます。

もちろん、このような自然災害に対して発注者側もただ手をこまねいているだけではなく、防災・減災について対応に当たられてきておりますし、我々建設関連業界もそれらの一翼を担うべく災害対策支援協定等によって協力支援体制を敷いておりますが、災害はそれらを超える規模で、また想定外の場所です。こつているのも事実です。今後はより一層の防減災対応のため、私たち製品協会として、製品開発にも注力していく必要があると改めて考える次第です。

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会 会長 松崎 秀雄

話題として福岡の「宗像沖ノ島」と関連遺産群の世界文化遺産登録が挙げられます。当初は、沖ノ島関連の4つの遺産だけの登録となるのではないかと心配されましたが、登録推進活動に携わる方々の尽力によって、最終的に8つ全ての遺産が登録されたのは皆様もご存じのとおりです。

世界遺産は世界に誇れる残すべきものを登録し、保存していくことと1972年ユネスコ総会で提唱され、現在世界で合計1073件、日本で21件が登録されています。そのうち九州には3件あります。そのような世界的に認められた遺産以外にも九州には温泉・山・海など豊かな自然が各地にあります。それらの資源を中心とした観光は、九州において最も重要な産業のひとつであり、今後の取り組みによって大きな伸びが期待される場所です。この観光産業を伸ばすため、新たな観光資源を開発するだけでなく、一度訪れたところでも「また来たい」と思われる魅力ある観光資源に育てていく必要があります。観光に訪

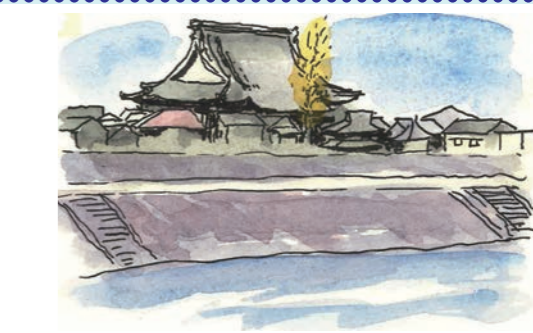
最後に、現在の九州コンクリート製品協会の今後の活動について触れたいと思います。本年度の総会でもお話しさせていただきましたが、現在の会員数は正会員社 42社、学界正会員 9名、賛助会員 22社の規模を持つ組織となりました。この会社社数を増やし、オール九州のコンクリート二次製品会社の組織体になること、これが我々の

防減災と観光、一見このふたつには関連性がないと思われるでしょうが、我々の仕事で考えれば共通するものは多いと思います。今後は、今まで関連のない業界・業務と思われる領域でも、協会員皆さんの協力・知恵を集めて新たな需要喚起ができればと考えていきたいと思っております。



活動をさらに確実にかつ強力に進めていくためのポイントだと思えます。今後も会員社皆様の入会支援活動により、1社でも多くの会社様に仲間になっていただきたいと思えます。そのためにも、魅力ある協会を作りあげることが私どもの責務と思っております。

また、災害対策支援協定に基づき、今回の北部九州豪雨災害でも九州地方整備局の要請で初動対応させていただきました。冒頭でも述べましたが、今後どこでいつ起こるかわからない災害に対して、協会としてしっかりと対応させていただきます。これ以外にも、協会主催の勉強会実施やプレコン管理士制度の運用強化など、会員社皆様の技術力向上に対し貢献させていただきます。よろしくお願いいたします。





# ご挨拶



小嶺啓藏 新副会長

## 協会の発展と各社の業績拡大のために頑張ります

平成二十九年六月の第十一回通常総会におきまして前任の中村副会長に変わり後任の副会長に選任されました小嶺でございます。九州コンクリート製品協会副会長の重責に身の引き締まる思いでございます。微力ではありますが、会員皆様方のご支援とご協力を頂きまして、協会及び会員各社の発展のために努力していきたいと思っております。宜しく

### 理事会及び各委員会報告

**理事 会**  
 ①平成29年度第1回理事会  
 日時 平成29年4月28日  
 場所 八仙閣  
 内容 総務企画委員会、広報委員会、市場調査委員会、技術委員会の開催が報告された

お願い申し上げます。まず、はじめに、七月初旬の九州北部豪雨に被災されて亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますと共に、被災された多くの方々にお見舞いとこれから一日も早く立ち直られることをお祈り申し上げます。復旧に向けて我々ができることでご協力致したいと思っております。

近年、地球温暖化のもとに世界各地で様々な異常気象が頻発し、天災が多発しています。特に降雨災害については過去のデータは、何の役にも立たなくなっています。過去においては、100年あるいは150年に一度の最大降雨量を、100m程度として想定しておりましたが、平成27年5月に水防法の改正により、定める最大降雨量は、想定最大規模の降雨により見直されています。今では毎を發揮するために、現場における作業の効率化・工期短縮の面から、プレキャスト化が有効だと言われています。早く各地でのハザードマップの修正を行ない、必要なインフラ整備や国民の命や資産を守るためのお願いをしなくてはなりません。我々協会としても力を結集して国交省・各自治体に対して協力体制を強化していかねばなりません。

日本コンクリート工学会熊本地震特別委員会の参画が報告された  
 平成28年度プレコン管理士試験実施が報告された  
 九州地方整備局との防災協定締結団体意見交換会の参加が報告された  
 正会員入会申請を審議した

は150年に一度の最大降雨量を、100m程度として想定しておりましたが、平成27年5月に水防法の改正により、定める最大降雨量は、想定最大規模の降雨により見直されています。今では毎を發揮するために、現場における作業の効率化・工期短縮の面から、プレキャスト化が有効だと言われています。早く各地でのハザードマップの修正を行ない、必要なインフラ整備や国民の命や資産を守るためのお願いをしなくてはなりません。我々協会としても力を結集して国交省・各自治体に対して協力体制を強化していかねばなりません。

全国建設業協会をはじめ国交省も、工事費の経費率見直しや工期短縮効果の加味などを協議した

②平成29年度第2回理事会  
 日時 平成29年6月5日  
 場所 八仙閣  
 内容 平成29年度収支予算（理事会上提案）を審議した

### 総務企画委員会

①平成29年度第1回総務企画委員会  
 日時 平成29年4月11日  
 場所 ヤマックス 会議室  
 内容 我々九州コンクリート製品協会も前向きに取り組んでいかなくてはとの思いを強くして、いるところでありました。

②平成29年度第2回総務企画委員会  
 日時 平成29年4月24日  
 場所 八仙閣  
 内容 平成28年度事業報告及び収支決算の内容を精査した

③平成29年度第3回総務企画委員会  
 日時 平成29年6月5日  
 場所 八仙閣  
 内容 平成29年度大規模津波防災総合訓練in宮崎の幹事会出席が報告された

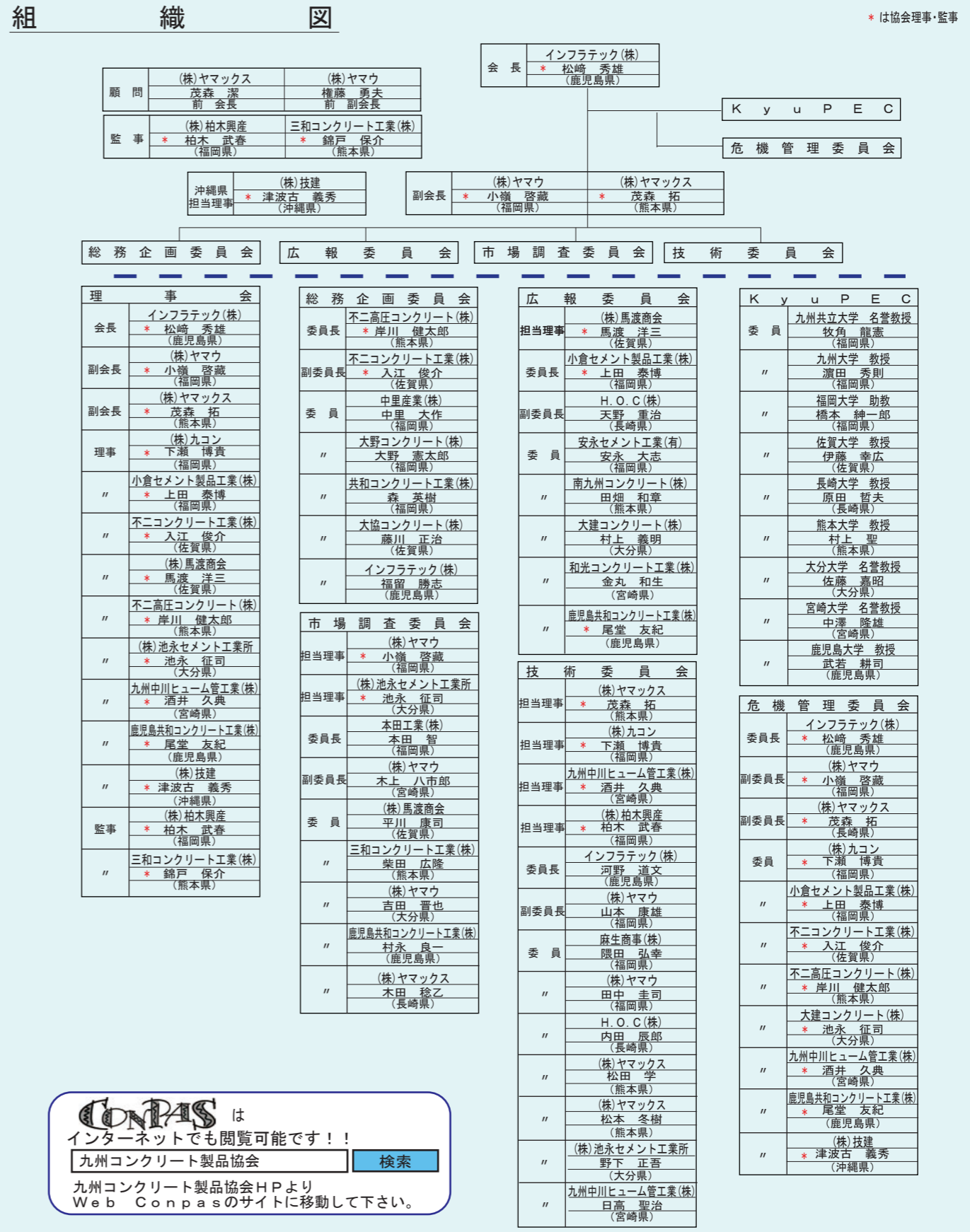


次頁につづく

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会

平成29年10月1日現在

\*は協会理事・監事



**CONPAS** はインターネットでも閲覧可能です!!

九州コンクリート製品協会 検索

九州コンクリート製品協会HPより Web Conpas のサイトに移動して下さい。

**投稿 歓迎 !!**

掲載された方には薄謝を進呈いたします

本紙への **ご意見・ご感想**

本紙Compasへ、皆さまの率直なご意見やご感想をお聞かせ下さい。これからの編集の参考にさせていただきます。 広報委員会

九州コンクリート製品協会事務局 熊本市中央区水前寺3-9-5 (株)ヤマックス内 (〒862-0950) TEL 096-381-8999

☆前頁より  
夕食時の一杯が細やかな癒しに感じるひと時を仲間と共に語りながらの夕食でした。

日本では貧困の連鎖などという表現で頻りに問題になります。が、インドのそれは想像をはるかに超えるものであります。経済発展も著しく恩恵を受ける人の住まいがお城の様であれば、塀を隔ててスラム街が広がっています。道路の脇に三角屋根にシートを掛けただけの生活を見てみると、少しでもこの国の発展に貢献できればという、ささやかな思いを抱きつつも現実からは遙か遠い思いであることも実感となってまいります。

交差点で車を止めた時、幼い子供が窓をたいて手を合わせてきたり、食事を済ませレストランから出てくるのを待つ赤ん坊を抱いたお母さんが手を差し伸べてきたり幾度となくこういう場面に遭遇しながら、複雑な思いに駆られたものです。

また格差社会あるいは階層社会が抱える問題からでしょうか、市内での暴動発生により工場への出勤が出来ないことも経験しました。

道路の交通状況としては車両台数が増え整備が間に合わない状況だったり、道路を逆走してくる車両は普通に遭遇する

☆前頁より  
など交通ルール(モラル)もなく、混雑・渋滞ばかりが目立つのが実態です。

『日本で培ってきた私達の技術がインドのインフラ整備に役立ち、全体の豊かさに少しでも貢献できれば幸いです』という、弊社社長の思いを工場での生産へとつないでいくことになりませんが、ここでインドの国民性というひとくくりでは表現できない、様々な想定外の事に遭遇することになってしまいました。

まず工場稼働に必要なワーカーの数を想定してインドの責任者に要望すると「わかった、すぐ集める」と言われて1ヵ月2ヶ月待つことになりました。仕事を休むときは複数のワーカーが一度に休みます。しかも長期に休むことも度々で、生産計画は大きく崩れてしまいます。それでも少しづつ人が集まり仕事に慣れてくると、今度は辞めていく者が出てきます。インドでは自分のスキルを高めて、少しでも条件が良い所に転職することが普通だと知るようになりまして。その中から主力になりそうな人材を中心に技術を継承していかねば、工場の稼働を軌道に乗せることは出来ないし、2交代で生産を間に合わせよう

としても、ワーカーの絶対数が不足している状況を説明すると、決まって「すぐ集めるから心配いらない」と同じ返事が返ってきます。設備や道具も同時に充実させていかなければならなりません。準備する「明日やる」と普通に返事が返ってくるので、いつもの対応から変な理解をしつつも、あまりの対応の遅さに苛立ちを隠せないことも珍しくありません。それでも彼らの考え方を変えていく必要性を感じながら奮闘する毎日でありました。

製品ラインナップはインドの事情や要望に合わせていますが、基本的には日本で生産している製品をインドのインフラ整備に紹介することで受注を確保しています。製品の用途や特長、設計条件や運搬・施工方法などをすべてを伝授しながら、同時に製品の生産技術の指導を行いながら工場も順調に稼働を続けております。

現在、受注も極めて順調に推移しており、弊社がインド事業へ進出を決断した理由の一つであるインドの経済発展がありま。一例を紹介すると受注物件の延長が25kmあり、日本の受注単位とは比較することさえ次元が違ってしまうほど大きく、

そしてこれからも多くの需要と要望がある言葉を肌で感じながら、また日本の新幹線も我々の工場の近くを通ることが決定しており、最近関連製品の問い合わせも来ています。手を合わせて物乞いをする幼い子供達の姿は目に焼き付いていますが、インドのメンバーと共に彼らの活躍の場を増やして行けるように、私達が今出来ることを一杯継続して行きたいと思っております。そして我々日本人スタッフが、新たなやりがいを感じて生き生きと活躍してくれていることに感謝しています。



現地社員と一緒に昼食



トレーラーに積まれた製品



整理が行き届いた工場内部



新築の工場建屋



広々としたストックヤード

☆前頁より  
協会広報紙「Compas」第26刊の編集会議を実施した

平成29年度の活動計画を協議した

①平成28年度第4回広報委員会  
日時 平成29年3月3日  
場所 八仙閣

②平成29年度第1回広報委員会  
日時 平成29年6月5日  
場所 八仙閣

協会広報紙「Compas」第27刊の役割分担会議を実施した

市場調査委員会

①平成28年度第3回市場調査委員会  
日時 平成29年3月7日  
場所 八仙閣

②平成29年度第1回市場調査委員会  
日時 平成29年4月13日  
場所 三和コンクリート工業・会議室

平成28年度の市場調査レポート作成内容を協議した

平成29年度の活動計画を協議した

市場調査委員会副委員長選任の理事会上提案を協議した

③平成29年度第1回技術委員会  
日時 平成29年4月19日  
場所 八仙閣

平成28年度プレコン管理士試験の実施が報告された

プレコン管理士制度の明文化を協議した

平成28年度プレコン管理士試験実施概要を協議した

外観合否判定基準を協議した

平成29年度活動計画を協議した

④平成29年度第2回技術委員会  
日時 平成29年5月24日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑤平成29年度第3回技術委員会  
日時 平成29年6月30日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑥平成29年度第4回技術委員会  
日時 平成29年7月21日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

③平成29年度第2回市場調査委員会  
日時 平成29年8月8日  
場所 TKPガーデンシティ博多駅前

平成29年度市場調査回収データの精査および報告書の構成を協議した

技術委員会

①平成28年度第9回技術委員会  
日時 平成29年1月26日  
場所 ヤマックス会議室

②平成28年度第10回技術委員会  
日時 平成29年2月24日  
場所 ヤマックス会議室

プレコン管理士制度の明文化を協議した

平成28年度プレコン管理士試験実施概要を協議した

③平成29年度第1回技術委員会  
日時 平成29年4月19日  
場所 八仙閣

平成28年度プレコン管理士試験の実施が報告された

プレコン管理士制度の明文化を協議した

平成28年度プレコン管理士試験実施概要を協議した

外観合否判定基準を協議した

平成29年度活動計画を協議した

④平成29年度第2回技術委員会  
日時 平成29年5月24日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑤平成29年度第3回技術委員会  
日時 平成29年6月30日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑥平成29年度第4回技術委員会  
日時 平成29年7月21日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

協議した

協会外からの指摘・提案事項への対応を協議した

外観合否判定基準を協議した

④平成29年度第2回技術委員会  
日時 平成29年5月24日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑤平成29年度第3回技術委員会  
日時 平成29年6月30日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した

⑥平成29年度第4回技術委員会  
日時 平成29年7月21日  
場所 ヤマックス 会議室

平成29年度プレコン管理士技術講習会開催を協議した

平成29年度プレコン管理士ミーティング開催を協議した



プレコン管理士試験問題・解答集作成を協議した

### ChallengingTime KC Quiz

<問題>

- 有機質、無機質、金属質またはこれらを組み合わせた接着剤の広義的な総称とは何か？
- 生コンクリートを必要とされる形状、寸法に成形し、適当な強度に達するまで支持するための仮設構造物のことを何というか？
- 細骨材とは10mm網ふるいを全部通り、5mm網ふるいを質量で( )%以上通る骨材である。
- 粗骨材とは、5mm網ふるいに質量で( )%以上とどまれる骨材である。
- 骨材の表面上に水がなく、骨材内部の空隙がすべて水で満たされている状態のことを何というか？
- 骨材を100~110℃の温度で定質量となるまで乾燥し、骨材内部に含まれている水がなくなった状態のことを何というか？
- コンクリート内部にある鉄筋や鋼材などから、それらを覆うコンクリート表面までの最短距離を何というか？
- 単位水量が一定の場合、コンクリートの乾燥収縮は水セメント比が大きいほど( )なる傾向にあり、水セメント比には比例しない。
- コンクリートの乾燥収縮ひずみは、同じ水セメント比のモルタルのそれより、一般に( )。
- 同じ圧縮強度を得るための水セメント比は、川砂利を用いる場合よりも、碎石を用いる場合の方が、一般に( )なる傾向がある。
- 細骨材率が大きいほど、分離傾向は( )。
- 粗骨材とモルタルの比重差が小さいほど、分離傾向は( )。
- モルタルの粘度が大きいほど、分離傾向は( )。
- コンクリートで埋め込んだ木材、鋼材、機器を固定するのに用いる。これを英語で「〇〇ボルト」という。  
セッティング アンカー フィックス アジャストメント
- コンクリートの空気量にはエントラップトエアとエントレインドエアがあるが、品質の改善に寄与するのは？

<解答>は14面へ



参加者集合写真

第27回九州かたまり会
とろ／平成29年6月6日(火)
とろ／福岡カンツリー倶楽部 和白コース(福岡市東区)

- DC 茂森 拓／満石忠弘
濱崎輝実／要 秀和
NP 濱崎輝実／藤川正治
側島福一②／馬渡洋三
出口 稔／山岡朋宏
山田敬太
BG 茂森 潔



優勝者スピーチ (藤川社長)



優勝者賞品授与 (岸川理事と藤川社長：右)

第27回九州かたまり会 成績表

Table with columns: 順位, 氏名, out, in, gross, HDCP, Net. Lists 27 participants and their scores.

【総評】九州北部地方が梅雨入り宣言した6月6日。第27回九州かたまり会懇親ゴルフコンペが、福岡市東区の福岡カンツリー倶楽部和白コースで開催されました。

これまでの中で最も多い26名が参加。最大の懸念は天気。前日の通常総会までは晴れの予報でしたが、コンペ当日は「午後から雨との予報。」

九州かたまり会懇親ゴルフコンペも回を追うごとに参加者も増加し、会員社の相互親睦の機会を作れているかと自負しております。次回開催は、宮崎例会翌日の11月7日(火)に宮崎近郊のゴルフ場で予定しております。秋の宮崎はハイスピードですが、これまで同様、戦略性に富んだ名門コースを手配しますので、多数の皆様のご参加をお待ち致します。

前頁より
これからの本講習会をはじめとする「プレコン管理士制度運営」を通して、会員各社のみならずコンクリート製品業界全体の技術力向上を実現し、「安全・安心なコンクリート製品を供給できる業界」としての社会的使命を果たし、業界の認知度を向上に向けた様々な取り組みを推進してまいりますので、多数の皆様への受講・受験をお願い致します。



講習I (田中技術委員) 挨拶・趣旨説明 (河野技術委員長) 講習会司会 (野下技術委員)



講習VI (隈田技術委員) 講習V (山本技術副委員長) 講習IV (内田技術委員) 講習III (松田技術委員) 講習II (松本技術委員)

【受講者アンケートの集計】
①制度創設の趣旨は理解できたか?
理解できた 37%
おおよか理解できた 53%
あまり理解できなかった10%
②テキストの内容は理解しやすかったか?
理解できた 32%

③講習説明は理解しやすかったか?
おおよか理解できた 58%
あまり理解できなかった10%
④今年度の認定試験を受験するか?
理解できた 26%
おおよか理解できた 61%
あまり理解できなかった13%
受験する 42%
受験しない 29%
【プレコン管理技術者用テキスト】
第1章「用語集」
第2章「コンクリート製品の概要」
第3章「製造」
第4章「コンクリート製品の設計」
第5章「品質管理と検査」
第6章「耐久性」
第7章「苦情処理」
第8章「安全衛生および公害防止」
第9章「設備管理」
第10章「マネジメント」



インド赴任の経験から

不二コンクリート工業株式会社 富永 義文

弊社は、コンクリート製品を製造販売することでインフラ整備に貢献してきたと自負する会社です。

弊社社長のインド事業進出決断に伴い、計画段階から同行させてもらいインド事情のほんの一端を垣間見て来ました。インドのコンクリート製品メーカーの視察からスタートして、私の記憶にもないくらいの手作業でのコンクリートの練り混ぜを行っていたことに、まず驚き、同時に砂や石といった原材料の品質も到底日本では考えられない粗悪な材料を使っていましたし、スコップで砂や石をドラムミキサーに入れて、セメントを分量で追加する、当然水の量は練り上がり状態を見ながら注ぎ込んでいました。

借りてもらったのですが、食事には苦労しました。日本食風の夕食と言うふれ込みで夕食を配達してもらっていましたが、どう見ても日本食風には見えません。食事が来ても勝手が分からないので、苦労と感じながらも当初の数カ月は過ぎていきまして、やがて、日本食レストランも住居の近くに増えて来るのに伴い、「弁当」という形で配達してもらえるようになりました。朝食は自炊、昼食は工場の食堂でインドの社員と全く同じ食事をいただくことになりました。現在では生活面での不便さはそれほど感じなくなりました。ただし宗教上の理由から我々も牛肉は食べられません。

我々から見れば「こんな工場で経営が成り立つのか?」と思いましたが、十分利益を上げないで済ませるという状況です。

そのような状況のなか「日本の生産システムを導入したい」とのインドの若い経営者の熱意を感じながら、工場の設計を進めるために現地の建築コンサルタントと打ち合わせを行うことになりましたが、インドでは打合せで決めたことを勝手に変更してしまうのも普通のようなので、何ら疑問に思われないうです。

不幸なことに、私達が生活している州では、インドの人はアルコールの飲酒が禁止されています。(インドのモデイ首相の出身地であるが)外国人は指定された機関で申請をして限られた量の酒類を購入することが出来ますが、国籍や住まいの確認はもろろのこと、購入期間も限定されているので、生活のリズムをイメージしながらビールなどを購入します。

後で変更の理由を付けてくる、と言ったことも頻繁に起きました。当然のことながら詳細を常にチェックしておかなければならなりません。

工場の稼働は後で触れることにして生活面を振り返って見ますと、幸い住まいはセキユリテイーがしつかりしたアパートを

次頁につづく

# 経済・社会環境変化に対応したものづくりと 研究・開発支援の推進について

経済産業省九州経済産業局地域経済部長 最上 賢治



九州経済産業局  
地域経済部長  
最上 賢治氏

九州コンクリート製品協会の皆様方におかれましては、平素より経済産業行政に対し御理解と御協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

はじめに、この度発生しました「九州北部豪雨」でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災されたすべての皆様様に心からお見舞い申し上げます。

九州経済産業局では、平成29年7月5日からの九州北部豪雨により、災害救助法が適用された「3市1町1村(福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村、田川郡添田町、大分県日田市、中津市)の被災中小企業・小規模事業者の方々を対象とした「特別相談窓口」を設置しました。

また、平成29年8月8日には「激甚災害法」に基づき、福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村の被災中小企業・小規模事業者の方々への財政援助として、中小企業信用保険の特例措置を講ずることとする政令等が閣議決定されました。これを受け、経済産業省といたしましては、これらの特例措置に加え、九州北部豪雨によって甚大な被害を受けた地域の小規模事業者の販路開拓を支援するための「小規模事業者持続化補助金」など被害を受けた施設・設備の復旧を支援するための追加的な支援措置を講じて参ることといたしております。

長の局面を迎えています。その中で、素材関連産業については、半導体製造装置関連部品や建設資材関連製品の受注が増加しており、平成29年6月の九州におけるセメント生産量は前年同月比12.6%増の107万トンで生産が好調に推移しております。

近年、我が国のセメント産業では、人口減少等による国内建設投資の停滞・減少や労働者不足、労務費や資材費などの高騰、建設工法の変更などにより、鉄筋コンクリート構造から鉄骨構造にシフトする動きが強まり、国内需要は減少傾向となっております。今後はオリンピック・パラリンピック等の一時的な需要や国土強靱化法に基づく防災、免災等への投資、老朽化した橋梁や道路等の補修などのインフラ整備が需要の下支えになると予想されております。一方で、今後ともアジア諸国を中心とした新興国等への需要の伸張や日本でも発生する廃棄物等のうち、約

3000万トンを超すセメントの原料として活用することができ、循環型社会におけるセメント産業の役割は非常に重要なものとなっております。また、今後、各国における環境規制の強化に対し、こうした廃棄物利用技術の向上や利用拡大の可能性を上げていくことが、セメント産業を新たな成長に導く鍵となるのではないかと考えているところであります。

さて、現下の九州経済ですが、昨年4月の熊本地震により、半導体、自動車関連企業の生産ラインが停止するなど、九州経済に大きな打撃を与えましたが、被災地の企業の懸命な復興への取り組みにより、鉱工業生産指数は震災前よりも回復し、更には、リーマンショック前の水準にも達しているなど、更なる成

このため、九州経済産業局といたしましても、こうしたセメント産業を取り巻く社会的、経済的な環境変化に対応すべく、中小企業・小規模事業者の経営力向上を目的とした「革新的ものづくり・商業サービス開発支援事業」や、ものづくり中小企業・小規模事業者が行う「基盤技術の研究開発からその試作・販路開拓までの取り組みを支援する」「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)などの各種支援施策をはじめ、新技術の標準化戦略について、業界団体を通じたコンセンサスを求めない」「新市場創造型標準化制度」「工業標準化制度(JIS制度)について、国民の安心・安全、信頼性確保のため、普及啓発の制

※日本商工会議所HPより  
◆平成29年7月5日から7月6日にかけて、九州北部地方で発生した豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)による甚大な被害により、顧客や販路の喪失という状況に直面した激甚災害(局激)の指定を受けた地方自治体に所在する小規模事業者が経営計画に基づいて実施する販路開拓等に対し、100万円または50万円を上限とする補助金(補助率2/3)が出来ます。

## 小規模事業者持続化補助金 (九州北部豪雨災害対策型)

平成29年7月5日から6日に九州北部地方で発生した豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)は、激甚災害として指定される規模の甚大な被害が生じた災害であり、特に激甚災害(局激)指定地域において、観光業、商業、サービス業、製造業等の小規模事業者が、顧客や販路の喪失という状況に直面しています。こうした小規模事業者の販路開拓を支援するため、激甚災害(局激)指定を受けた地方自治体の地域を対象とする本補助金を実施し、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓の取り組みや、地道な販路開拓とあわせて行う業務効率化(生産性向上)の取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

貴協会の皆様方におかれましては、引き続きコンクリート製品の研究・開発や関連業界等との連携を通して九州地域におけるコンクリート製品業界のさらなる発展と経済の活性化に貢献されることを期待しますとともに、メンバー各会員の益々の御発展を祈念致します。

◆九州北部地方で発生した豪雨(平成29年7月九州北部豪雨)により、  
①直接被災または売上減の間接被害を受けた、福岡県朝倉市または朝倉郡東峰村に所在する小規模事業者  
②直接被災を受けた、福岡県田川郡添田町または大分県日田市に所在する小規模事業者  
が対象です。  
詳細は、日本商工会議所HPをご覧ください。  
http://h28.jizokukanojokin.info/gou/

## 平成29年度KyUPEC会議開催報告

平成29年8月31日(木)、平成29年度KyUPEC会議が福岡市で開催され、KyUPEC学界正会員、理事・監事、技術正副委員長が出席しました。

会議では、出席者全員からの一言挨拶の後に、各委員会からの報告・要望事項が説明され、その後、出席者全員での質疑応答や意見交換が活発に行われました。

日時 平成29年8月31日(木)  
12時30分～15時00分  
場所 八仙閣(福岡市)

議題(各委員会からの報告・要望事項)  
①総務企画委員会：総会・例会への参加依頼  
②広報委員会：協会広報紙への寄稿御礼  
③技術委員会：プレコン管理士制度運営について  
④危機管理委員会



KyUPEC会議全景

：行政との防災協定締結に向けての取組み

【意見交換時の主な発言(抜粋)】  
○プレコン管理士制度運営と広報活動によるPRについて  
○プレコン管理士制度の明文化を作成したことは、関係する人々の共通認識が確立できたというところで評価できるが、行政経験者から指摘された「プロフェッショナルな管理技士」というものについては、実際のプレコン管理士の現状と比較すると要求されるレベルが異なることから、さらなる今後の共通認識が必要と考える。

○示方書の中でプレキャスト製品の取り扱いや生産性向上等の新たなテーマが出てきており、それらの情報をいち早く取り入れられる管理(技)士を目指す。プレコン管理士にはそのようなレベルの仕事をしてほしいし、協会としてもそのレベルに育成する必要がある。

○プレコン管理士が業界内だけを見るのではなく、業界を代表して社会全般に協会や業界のPR、コンクリート製品のイメージアップの場をつくれるような取り組みはできないか。業界全

体のイメージアップは今後必ず必要になってくる。また、協会広報紙を活用した発注者や使用者へのコンクリート製品業界としてのPRも必要である。

○現在運営しているプレコン管理士制度は本来想定していたレベルと差がある。今後、これまでの5年間の運営をもとに次のステップ(上級資格を検討していく必要がある。

○国の方策としてiConstructionの施策としてiConstructionがすすめられているが、コンクリート製品業界の認識はどのようなイメージを持っているのか知りたい。

○ようやくiConstructionにおいて拠出される項目が決まり始めている。また、それに付随したマニュアルも整備されつつある。主だった内容は、ドローンによる測量などから始まっている状況。今後徐々に詳細が詰められていく状況である。コンクリート工としては、佐賀県では砂防堰堤は残存型枠が標準施工になりつつある。行政の決定を待つのではなく、コンクリート製品のメリットをPRして、行政に対して提案していくべきである。とくに県や市

町村に対しては、コンクリート製品のメリットを強調することではなく「スピード化が図れる」ということを提案していきたい。その一例として：

↓製品を大型化すれば分割が必要となるが、その際の継手部に費用がかかる。  
↓しかし、スピード化に価値が認められれば、工期短縮による全体費用の低減がアピールできる。

↓積算の在り方まで踏み込んで提案できれば、採用につながるのではないかと考える。  
時代背景的にそのようなPRができれば、製品化につながるような雰囲気を感じている。

○コンクリートの本音は「高くて良いものであれば使用する。その理由を明示してほしい」ということではないか。我々はプレキャストのメリットを伝えられ

なければならぬ。それができないならば、会計検査にも通用しないことから、現場打ちが優先される。

○iConstructionの求める生産性向上には「時間短縮」等を全体コストに反映できる説明が必要である。10年程以前、「ユニットプライス」という施策が進められプレキャスト化が期待されたが、これは設計変更ができなかったことから業者が前向きではなく効果は少なかつた。この時でも、時間短縮による経済効果が換算されていたればプレキャスト化が進んだかもしれないなかつた。iConstructionでは、この点をいかにアピールできるかが鍵になると考える。

○現在の総合評価での技術提案が厳格化し、現場打ちと製品の品質にあまり差がなくなってきた。その結果、現場打ちでは養生について非常に時間・労力が割かれ、現場管理者は養生に非常に時間を取られている。プレキャスト製品は「養生せずとも品質が確保されている」ことをアピールできればゼネコンなどにも良い評価が得られると考えられる。



と等が説明されました。また、今回の講習会から新たに「小論文対策」の講習が追加され、講師を担当した技術委員がこれまでに受験してきた資格試験における論文対策を経験をもとに説明し、今後のプレコン管理士試験での論文問題の事前対策が可能となる講習会となりました。  
本年も3月に実施した「プレコン管理士認定試験」であられた40名のプレコン管理士が誕生し、これまでの4か年であわせて132名のプレコン管理士が認定されています。今後も引き続き認定されたプレコン管理士に対する継続教育の一環として「プレコン管理士ミートイン」の開催や、資格更新のための「プレコン管理士技術講習会」などを実施し、さらなる制度運営の充実を図るために技術委員会をはじめ協会として早急に対応してまいります。  
また、これまでの受験者から「試験の傾向が知りたい」と「問題の解答が知りたい」などの要望が多数あったことから、今年度から徐々に「プレコン管理士試験問題集」の作成にとりかかることとなりました。完成次第、皆様にお知らせいたしますので、受験対策の一助としていただければ幸いです。  
次頁につづく